

グループの結成と地域特産魚のブランド化の取組

(釣リサバの付加価値向上の取組と担い手育成)

南薩地域振興局林務水産課 新谷

【背景・目的】

南さつま市の坊泊漁協ではサバー本釣り漁業が盛んで、所属漁船 12 隻 (13 名) が同漁業を営んでいる。

坊泊漁協のサバ釣り漁業は夜間、擬餌針によって漁獲、活魚で持ち帰り、早朝、首折り処理を行って、鹿児島市の魚類市場へ各個人が運搬してきた。

効率も悪く、市場への入荷量によって、当日の価格も不安定で、グループ組織を発足させ、地域特産魚の P R と販路拡大、ブランド化等に取り組み、魚価の向上、漁業経営の安定を図る必要があった。

【普及内容・特徴】

南さつま市とともに、普及活動として技術指導を行うと同時に、消耗資材の整備等については地域振興推進事業により支援を行った。

(1) グループの結成

平成 20 年 4 月、7 名によって「つり鯖会」を発足。

(2) 視察，研修会の実施

鹿児島市魚類市場，県水産技術開発センター等視察，水産流通，鮮度保持，蓄養等に関する研修

(3) ブランド化の取組

「双剣鯖」と命名し，一定以上の魚体重のサバを指定。

ブランド名のシールを貼付したスチロール箱，パーチ，ブランド・タグ，のぼり旗，法被の整備

(4) 蓄養生簀の整備

品質向上，出荷調整のための蓄養生簀の整備

(5) 即売会の開催，商談会への参加

P R，販路開拓のための即売会開催，商談会への参加

【成果・活用】

(1) 品質の向上

ブランド化に向けた研修により，会員個々の品質向上に対する意識が高まった。

(2) P R，販路開拓

即売会の開催，商談会への参加により，地域内外に広く P R するとともに，販路開拓が図られた。

(3) 出荷調整，共同出荷

漁獲物の一部を蓄養し，出荷調整することにより，市場での魚価格の安定が図れるようになった。

また，鹿児島市場へのお荷を輪番制で行うことにより，出荷作業の負担が軽減されるようになった。

【その他】

引き続き，グループ活動を充実させ，蓄養と共同出荷体制を確立し，価格の安定，向上に努める必要がある。



蓄養生簀からの取り上げ



首折り，海水氷に漬け込み



計量，選別



ブランド・タグの装着



即売会（イオン鹿児島店）



商談会出展（城山観光ホテル）